

環境調査結果をお知らせします

市では河川の水質および底質、大気および土壌中のダイオキシン類に関する調査を行っています。平成22年度の結果は次のとおりです。

1 河川の水質（年平均値）

【調査日】平成22年5月27日、8月26日、11月12日、平成23年2月22日

【結果】長野落のBODは環境基準値を超えていましたが、それ以外は環境基準値を下回りました。

測定地点	pH	BOD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)
新忍川	7.5	2.8	12
長野落	7.5	8.0	22
北河原用水	7.4	2.9	10
荒川左岸幹線用水	8.3	3.2	9
酒巻導水路	7.9	3.2	8
環境基準値	6.5～8.5	5	50

・pH（水素イオン濃度指数）：酸性かアルカリ性かを示す指標で、7が中性

・BOD（生物化学的酸素要求量）：有機物汚濁の指標

・SS（浮遊物質）：水中に漂っている固形物質の量

※測定は年4回、各河川の上流・中流・下流で行っており、上記の結果は各河川の年間平均値です。なお、測定結果の詳細は市ホームページで公表しています。

2 河川の底質

【調査日】平成23年1月20日

【結果】底質を除去しなければならない基準である「底質の暫定除去基準」を下回り、良好な結果でした。

測定地点		総水銀 (mg/kg(dry))	ポリ塩化ビフェニル (mg/kg(dry))
長野落	上流	0.09	0.01以下
	中流	0.06	0.01以下
北河原用水	上流	0.05	0.01以下
	中流	0.02	0.01以下
底質の暫定除去基準		25	10

3 大気中のダイオキシン類

【調査日】〔夏季〕平成22年8月20日～27日

〔冬季〕平成22年12月3日～10日

【結果】環境基準値を下回り、良好な結果でした。

調査地点	ダイオキシン類濃度（年平均値） (pg-TEQ/m ³)
行田市役所	0.029
南河原支所	0.034
地域文化センター	0.045
環境基準値	0.6

4 土壌中のダイオキシン類

【調査日】平成22年8月19日

【結果】環境基準値を下回り、良好な結果でした。

調査地点	ダイオキシン類濃度 (pg-TEQ/g)
南河原幼児北公園	18.0
砂原公園	6.3
地域文化センター	1.1
環境基準値	1,000

市では河川の汚染防止対策として、合併処理浄化槽の設置や適正使用の推進をしています。また、ダイオキシン防止対策として、市内野焼き防止パトロールを行っています。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

道路上に張り出している

樹木の剪定のお願

さわやかな新緑の木々も、枝が道路に張り出すことにより、歩行者や車両の通行に支障となるほか、見通しを悪くし、思わぬ事故の原因となる場合があります。

こうしたことを防ぐためにも、土地所有者は、道路上に張り出している樹木の剪定をお願いします。

※倒木などが原因で交通事故が発生した場合、樹木の所有者が責任を問われることがあります。

▼注意

- 電線や電話線がある場所での作業は危険を伴うため、事前に東京電力（株）やNNTに連絡してください。
- 通行車両、自転車および歩行者の安全を確保してください。
- 樹木から転落しないように注意してください。

▼問い合わせ 管理課管理担当 ☎550-1552

登記印紙の取り扱いが変わります

これまで、登記事項証明書の交付請求などに係る登記手数料は、登記印紙で納付していましたが、4月1日から収入印紙で納付していただくことにな

りました。（※当分の間、登記印紙を登記手数料の納付に使用することができます。）

また、登記手数料も改定され、登記事項証明書1通1千円から700円となりました。

▼問い合わせ さいたま地方務局総務課 ☎048-851-1000

未来へ残したい 行田自然八景を制定

平成22年12月に「みどりのぎょうだ ネットワーク」が行田らしい自然に親しんでもらうため、「未来へ残したい行田の自然八景」の募集を行ったところ、427人の市民の方から協力をいただきました。その結果、次の8カ所に決定しましたので報告します。

- 忍城址と水城公園
 - 福川と中条堤
 - 星川とキタミソウ
 - 利根川（利根大堰周辺）
 - 旧忍川と小崎沼
 - 石田堤と堀切橋周辺
 - さきたま風土記の丘と前玉神社の杜
 - 古代蓮の里公園と行田浄水場の水鳥
- なお、紹介パンフレットは行田市観光協会（商工観光課内）で配布していますので、ぜひご覧ください。
- ▼問い合わせ 行田さくらロータリークラブ ☎564-3000